



苗を植え付ける生徒ら(西階中学校)

コノハナロードにコットン

市民応援隊
植え付け祭

西階中1年生が参加

延岡

コノハナロード延岡

市民応援隊(松田庄司
理事長)主催のコット

ン植え付け祭が7日、
同市五ヶ瀬川右岸野地

堤防線の通称コノハナ
ロードであり、西階中

学校(城戸勇司校長、
312人)の1年生約

90人が自分たちで育て
たコットン・綿の苗木

約200ポットを手植
えした。

1年生は現在、「地域
を知ろう」のテーマで

総合的学習に取り組ん
でおり、今回はその一

環で参加。理科や家庭

科など、各教科を関連
付けて学ぶ目的も兼

ね、城戸校長の要望で
実現した。

この日は同隊の会員
24人も参加。作業を前

にリーダーの武田弘子
さん(80)が「私たち

会員と一緒に活動する
ことで、地域貢献を体

験してください」とあ
いさつし、植え方を説

明した。

生徒は育てた苗を約
50秒間隔で丁寧に植え
付け、倒れず成長する

よう竹の支柱にくんり
つけた。同隊が植える
分も手伝い、花壇約1
30段にわたって計約
1200ポットを手植
えした。

参加した中村陽音さ

んは「地域の人たちと
協力して取り組むこと
ができ、貴重な体験

だった」と、函師唯夏さん
は「心配だったけどう

まく植えられて良かつ
た。成長を楽しみにし

たい」と話した。

同隊の松田理事長

(78)は、「記憶に残る
体験を通じて地域愛を

育んでほしい。延岡に
住みたいと思ってくれ

る子どもが増えるとい
いですね」と期待して
いた。